

県立広島大学講演会「研究を地域の力に！」を開講します

1 趣旨

県立広島大学は、経済産業省の企画『プレ金大学』と連携した講演会「研究を地域の力に！」を開催し、参加者を募集します。

2 プレ金大学

『プレ金大学』は、プレミアムフライデーを活用してリカレント教育（社会人の学び直し）の機運醸成につなげるため、経済産業省が全国の大学に参画を呼び掛けたもので、県立広島大学は、「研究を地域の力に！」というテーマでプロジェクト研究センターを中心とした、地域に貢献する特色ある研究活動を紹介する講演会を開催します。

プレ金大学のホームページは、<https://premium-friday.com/prekindaigaku/> です。

3 講演会の概要

- (1) 日時：平成31年3月29日（金）13:00～17:00
- (2) 会場：サテライトキャンパスひろしま（広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター 5階）
- (3) プログラム概要（※詳細は参加者募集チラシ参照。）

プログラム概要	講 師
地域基盤研究機構の活動について	地域連携センター長 市村 匠 <small>いちむら たくみ</small>
1) 講演会（各40分）	
① レモンによる健康寿命延伸を目的とした地域貢献の取り組み	レモン健康科学プロジェクトセンター長 保健福祉学部 教授 飯田 忠行 <small>いひだ たけゆき</small>
② 資源循環プロジェクト研究センターの取り組み紹介	資源循環プロジェクト研究センター長 生命環境学部 教授 三吉 好治 <small>よしかみ よしはる</small>
③ 高度人工知能プロジェクト研究センターの取り組み紹介	高度人工知能プロジェクト研究センター長 経営情報学部 教授 市村 匠 <small>いちむら たくみ</small>
2) パネルディスカッション（60分）	
プロジェクト研究センターの課題、研究の成果を地域に還元する活動について	パネリスト： 上記講演会講師（3名） モデレーター： 地域連携センター 准教授 西川 洋行 <small>にしかわ ひろゆき</small>



4 参加者募集

- (1) 対象：どなたでも（受講料無料）
- (2) 申込方法：本学ホームページの次の URL 又は右の QR コードの「申込フォーム」で所定事項を入力して申し込む。

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouzah310329.html>



5 お問合せ先

県立広島大学 地域連携センター

電話：082-251-9534（平日 9:00～17:00） / E-mail: kouza@pu-hiroshima.ac.jp



県立広島大学講演会 「研究を地域の力に！」


日 時	平成 31 年 3 月 29 日 (金) 13:00~17:00 (開場 12:30)
開催会場	サテライトキャンパスひろしま 広島市中区大手町 1 丁目 5-3 (広島県民文化センター 5 階)

県立広島大学の特色ある研究活動をご紹介します。

- ① レモン健康科学プロジェクトセンターが広島県および関連企業と共同で取り組んできた、レモンによる健康影響に関する研究成果をご紹介します。
- ② 資源循環プロジェクト研究センターが取り組んできた、広島県の歴史的背景を踏まえた「特色ある産業」と大学のシーズや強みをつなぎ合わせる活動事例をご紹介します。
- ③ 高度人工知能プロジェクト研究センターが取り組んできた、機械学習や深層学習による研究成果、これらの成果を活用した人材育成、今後の活動などをご紹介します。

プログラム概要

1 講演会 (各 40 分)	
① レモンによる健康寿命延伸を目的とした地域貢献の取り組み	レモン健康科学プロジェクトセンター長 保健福祉学部 教授 飯田 忠行
② 資源循環プロジェクト研究センターの取り組み紹介	資源循環プロジェクト研究センター長 生命環境学部 教授 三苫 好治
③ 高度人工知能プロジェクト研究センターの取り組み紹介	高度人工知能プロジェクト研究センター長 経営情報学部 教授 市村 匠
2 パネルディスカッション (60 分)	
プロジェクト研究センターの課題、研究の成果を地域に還元する活動について	パネリスト： 上記講演会講師(3名) モデレーター： 地域連携センター 准教授 西川 洋行

参加者募集	どなたでも (参加費は無料です) 先着 100 名様	
申込方法	右の QR コードまたは本学ホームページの次の URL 上の「申込フォーム」に入力してください。 http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouzah310329.html	
申込締切	平成 31 年 3 月 28 日 (木)	

主催先	県立広島大学 地域連携センター 〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71 電話 082-251-5437 (平日 9:00~17:00)
-----	---

【プログラム】

	時間	テーマ・講師・概要	
	13:00 ～13:30	開会挨拶 地域基盤研究機構のご案内	地域連携センター長 市村 匠
講演①	13:30 ～14:10	レモンによる健康寿命延伸を目的とした地域貢献の取り組み	保健福祉学部 教授 飯田 忠行
		広島県の戦略作物である「レモン」は、この20年(2014年/1994年比)で収穫量は約4倍、出荷量は約3倍以上に増えています。最近では、レモンのお菓子、塩レモンやレモン酢といった皮ごと使う活用法が広がってきています。県立広島大学では、レモンによる健康影響について広島県および関連企業と共同で取り組んできました。そこで、産官学が力を合わせたレモンの健康の研究成果について紹介します。	
講演②	14:20 ～15:00	資源循環プロジェクト研究センターの取り組み紹介	生命環境学部 教授 三苫 好治
		資源循環プロジェクト研究センターでは、広島県の歴史的背景を踏まえた「特色ある産業」と大学のシーズや強みをつなぎ合わせる活動を通して、県立広島大学の地域貢献活動に挑戦し続けています。本講演では、センターの開設前から温めてきたシーズ技術の紹介から始め、関連テーマの育成方法(NEDO, JST, JSPSなどの補助金活用事例)や様々な共同研究事例(中小企業から東証1部上場企業まで)、これからの展望、さらに、最近の地域課題解決に向けた新たな取り組み事例(イノシシ忌避装置の開発など)を紹介します。	
講演③	15:10 ～15:50	高度人工知能プロジェクト研究センター取り組み紹介	経営情報学部 教授 市村 匠
		新聞やネットニュースなど、AI(人工知能)という言葉が聞かない日がなくなってきました。IoTやAIにより、必要な情報が必要な時に利用できるようになり、社会問題の解決が期待されています。本講演では、人工知能には多くの手法があること、機械学習や深層学習による研究成果、これらの成果を活用した人材育成など、今後当センターがどのような活動をするのかを紹介します。	
	16:00 ～17:00	<パネルディスカッション> 3センター長に、研究の大変さ、楽しさ、研究の成果を地域に還元する活動について伺います。	

【会場案内】

サテライトキャンパスひろしま

広島市中区大手町1丁目5-3(広島県民文化センター 5階)

参照 URL: <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/uploaded/attachment/11301.pdf>



【JR広島駅から】
路面電車で約20分、
バスで15分、車で15分

【路面電車(広島電鉄)】
広島港行
「本通り」徒歩約5分
西広島行・江波行・宮島行
「紙屋町西」徒歩約3分